

(別添) IUCN 世界自然保護会議 (WCC) 2025 の概要

1. IUCN 世界自然保護会議 (WCC) 2025 について

「IUCN 世界自然保護会議 (WCC) 2025」は、国際自然保護連合 (IUCN) の4年に1度の会員総会と、それに併せて行われる「世界自然保護フォーラム」で構成されます。

(1) 期間

令和7年10月9日(木)～15日(水)

(2) 場所

アブダビ国立展示センター (アラブ首長国連邦・アブダビ)
(オンライン併用)

(3) 参加者

IUCN 会員、専門家等が世界各地から参加します。日本からは、外務省 (国家会員)、環境省 (政府機関会員)、IUCN 日本委員会 (IUCN-J)、経団連自然保護協議会などの会員団体のほか、星野一昭 IUCN 理事 (南・東アジア地域選出、元鹿児島大学教授) を始めとする関係者、専門家が参加予定です。

(4) プログラム

世界自然保護フォーラムでは、ハイレベル対話やテーマ別会合など、様々なイベントが開催されます。また、会員総会では、役員選挙、IUCN 会員等から提案された各種動議の採択、功労者への表彰などが行われます。

なお、役員選挙では、外務省・環境省等からの推薦を受けた酪農学園大学・吉中厚裕教授が、IUCN 理事 (南・東アジア地域選出) に立候補しています。

主なスケジュールは以下のとおりです。

10月9日(木)：開会式

10月9日(木)～12日(日)：世界自然保護フォーラム

10月13日(月)～15日(水)：IUCN 会員総会

※ プログラムの詳細や最新の日程等は以下の公式ウェブサイト (英語) にて御覧いただけます。

<https://iucncongress2025.org/>

2. 環境省の対応

環境省からは以下のイベントを主催するほか、IUCN 事務局や IUCN 会員が主催する各種イベントに、講演者やパネリスト等として登壇し、日本の生物多様性保全の取組紹介等を行う予定です。

期間：令和7年10月10日(金) 14:00～14:45 (日本時間 19:00～19:45)

場所：アブダビ国立展示センター内 IUCN アジアパビリオン

内容：アジアにおける「昆明・モンリオール生物多様性枠組」達成に向けた進捗と課題—OECM を中心に

(参考) 国際自然保護連合 (IUCN) の概要

国際自然保護連合 (International Union for Conservation of Nature : IUCN) は、1948年に設立された、自然及び自然資源の保全に関わる国家、政府機関、非政府機関で構成され

る世界最大規模の国際的な連合体です（本部はスイスのグランに所在）。

170以上の国々から、1,536団体（国家会員88団体、政府機関会員116団体、非政府機関など1,332団体）が会員として参加しています（2025年8月現在）。18,000人を超える科学者・専門家とともにグローバルな協力関係を築き、“自然の価値を評価し、保全する”世界を目指しています。

環境省は1978年に政府機関会員として加盟し、その後、外務省が1995年に国家会員として加盟しています。その他、日本自然保護協会、経団連自然保護協議会、日本動物園水族館協会、世界自然保護基金（WWF）ジャパン、日本野鳥の会などの非政府団体（NGO）が加盟しています。

以 上